

松山市総合コミュニティセンター

温水プール安全運行について

お知らせ

利用に際し、安心してご利用いただくため施設の構造、安全管理運営体制について、市民の皆様にお知らせいたします。

☆施設関係

2.5m プール	<p>2.5m×1.5m 水深1.26m～1.45m 7コース（内1～3コースは、プールフロアを使用し、水深86cm～105cm）</p> <p>【吸排水口】 吸排水口は2箇所あり、取水口部分はステンレス製の格子蓋（48cm角）を、ボルト4本で固定しています。 この集水桝（43cm×43cm×深さ88cm）の中に直径15cmの吸排水管があり、平成18年8月12日、吸い込み防止金具を新たに設置し、ボルトで固定、二重の事故防止措置を取る構造となっています。</p> <p>【プールフロア】 結束バンドで堅固に固定し、潜り込み防止板を専用固定具で取り付けています。 水深の違う3コースと4コースの間には、安全対策として転落防止用ネットを設置しています。</p>
幼児用 プール	<p>水深40cm～60cm</p> <p>【吸排水口】 吸排水口は1箇所、吸排水管直径は6.5cmです。取水口部分はステンレス製の穴あき蓋（パンチングメタル1cmの穴あき、厚み6mm、45cm角）を4本のボルトで固定し、その下にも吸い込み防止金具をボルトで固定した二重安全構造となっています。</p>
プール サイド	<p>水際に競技用飛び込み台を設置する部分があり、通常ステンレス製で滑りやすい物が多いですが、当プールでは、その部分に滑り止め加工をし転倒防止対策をしています。</p> <p>プールサイドには、転倒防止と、万一転倒した場合でも、衝撃を少しでも抑えられるよう、転倒防止用マットを設置しています。</p>

☆管理・運営体制

始業 点検	<p>各プール吸排水口部分の蓋に異常（ボルトの緩み・脱落・がたつき等）が無い水底、プールフロア、転倒防止ネットなどに破損や異常は無い水底にて安全確認を行い、プール内、プールサイドの安全を確認した上で運行しています。 万一異常があった場合、安全な運行ができるまで、利用を中止させていただきます。 その場合には、ご協力をお願いします。</p>
営業中 点検	<p>混雑時には30分～1時間毎に休憩を取り、安全点検を行います。 混雑時以外でも、適時安全点検を行い、異常が無い確認しています。 異常を発見した場合、直ちに利用を中止させ、安全に運行出来るまで遊泳者は水より上がっていただきます。 点検が終わるまで、ご協力をお願いします。</p>
終業後 点検	<p>終業後にも水中にて点検を行い、安全確認を行います。 異常を発見した場合は、安全な運行が出来るよう修復します。</p>
管理 監視	<p>救命救助に対する資格者や上級救命講習受講の職員を中心とした配置の体制をとっています。</p>

☆係員の安全教育

安全・衛生管理マニュアルの徹底、また、心肺蘇生の研修や水上救助訓練の実施、上級救命講習にも参加しています。
水泳指導の有資格者が日常から監視の心得、人命救助の方法の指導を行い、管理・監視・連絡を怠ら無いよう、常に危機管理意識を持って安全性の向上に務めるよう指導しています。

利用者の方に安全・安心して利用していただくため、係員より利用についてお願いする場合がございます。事故の無い衛生的なプール運用のため、ご協力をお願いいたします。